

地方公共団体名： 鹿児島県西之表市

○提案内容: 商店街を核とした消費動向調査や環境整備

(1) 実現したい島のビジョン・方向性	
<p>「あるきたくなるお散歩みなとまち」を目指して、商店街及び地域経済の活性化を図る。 本市が持続可能な地域を維持していくためには、本市経済の中心である西之表港周辺にある商店街のにぎわいの創出による活性化や本市の歴史や文化、自然を生かした観光による交流人口の増加による移住・定住へ結びつけることが重要であり、種子島の海の玄関口、「西之表港」とともに、その周辺に分布する観光資源を活用したまちづくりを進める。</p>	
(2) 新技術の導入により解決したい離島の課題	課題の分類
<ul style="list-style-type: none"> ●本市の有する西之表港は種子島の来島者の約8割が利用する海の玄関口であり、赤尾木港と呼ばれた古くから国内外に開かれた拠点として海の玄関口となり、これまでも多くの交流を生み出し、島の活気を中心にあり、西之表港の背後地には他の港町の形成にもみられるように赤尾木のまちなみが残る商店街が形成され、種子島の中心商店街として機能してきたが、人口減少や入込客減による商圈人口の減少、島外資本の大型店舗やホテルの進出等が続き、市商工会の会員数の減少や空き店舗の増加、駐車場化が進展しており、高齢化や後継者不足による更なる空き店舗化の進展が懸念される。 ●古くから本市の商業機能は商店街に限定されてきたため、郊外型商業施設の進出や消費減退などの危機への対策が講じられず、各事業者の活性化に向けた認識もバラバラである。 ●モータリゼーションが発達する前に形成された商店街であるため、道幅も狭く、駐車場や歩道も未整備な箇所も多く、バリアフリーへの対応がされていないというハード面の課題もある。 ●店舗の情報発信が弱い。 <p>●観光客については、平成19年度をピークに減少傾向にあったが、ここ数年は横ばいもしくは微増傾向にあるが、観光客数や動向が把握されておらず、データに基づく効果的な施策や情報発信がされていない。</p> <p>●あわせて、種子島に対する観光に訪れる人のニーズが把握されていないため、旅行商品とのマッチングができていない。</p> <p>●島に到着してからの2次交通が未発達であり、レンタカー等の移動手段がなければ島内の移動ができない。</p>	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 環境 産業 担い手確保・人材育成 その他

(3) 新技術の導入による課題解決の方向性 (イメージでも可)

データに基づく対策を実行するため、市民の購買の実態や観光客の動向等を把握する。キャッシュレスの普及とともに年齢や住居などのデータを把握するような仕組みを構築し、本市独自のプレミアムを付加するなど、経済化の活性化にも資する取組とする。

観光客の動向については、レンタカーやレンタサイクル等へGPSをつけて、その動向を把握することや、印象に残った場所・商店をSNSに掲載することでインセンティブを与えるなどの仕組みも構築する。

あわせて、現在の道路幅員では歩きにくい既存商店街について、防災面も含めて電線及び電柱の地中化を行い、Wi-Fi等の環境整備を図る。電線及び電柱の地中化は費用がかかることから、簡易的な低コストでの導入を検討し、モデルとする。

2次交通についても、環境にやさしいコンパクトモビリティや自動運転によるバスの運行などを導入し、まちなかへの誘客や観光地への回遊を促す。

(4) その他

商店街等の取組はこれまでも取り組んできているが、昨年度、商店街を中心とした基本構想を策定しており、今後、基本構想に基づき、取組を進めていくこととしており、素地はある。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先 (電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先 (電話)	連絡先 (メール)
西之表市経済観光課	横山 義之	0997-22-1111(内線271)	shoukou@city.nishinoomote.lg.jp